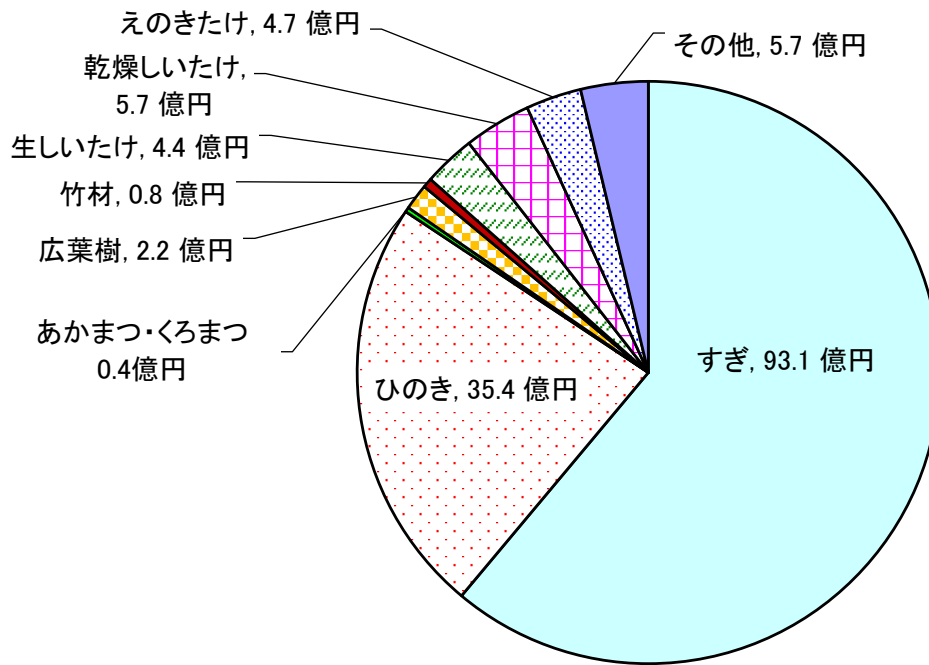


熊本県の主要品目別林業産出額（令和元年）



解 説

【概要】

令和2年2月1日現在の県内林家数は18,041戸で、前回調査の平成27年の20,759戸から2,718戸減少した。

令和元年の林業産出額は152.4億円で前年から4.4%減少した。

林業産出額は全国で第8位となっている。

令和元年の熊本県の品目別産出額を見ると、「すぎ」と「ひのき」で全体の8割以上を占めている。

○林家数

保有山林面積が1ha以上の世帯をいう。

○林業産出額

各林産物の生産量に単価を乗じて推計した額。

○林業産出額に占める木材生産の割合

林業産出額のうち、木材生産が占める割合。

$$\text{木材生産額} \div \text{林業産出額} \times 100$$

○林業産出額に占める栽培きのこ類生産の割合

林業産出額のうち、栽培きのこ類生産が占める割合。

$$\text{栽培きのこ類生産額} \div \text{林業産出額} \times 100$$

資料出所	調査期日	調査周期
*1 「2020年農林業センサス」 農林水産省 *2、*3、*4 「林業産出額」 農林水産省	令和2年2月1日 令和元年	5年 毎年